BOOKに入る前に 問題の答え方トレ ーニング



き方も大切です。ここでは、答えの書き方のトレーニングをしま 問題を解くときは、答えを考えるだけでなく、考えた答えの書

1

り問いに合った答え方をしよう

問題文を見直してみましょう。答え方が、問題で問われている ことと合っているか、 答えがわかったら、解答らんに書きこむ前に、もういちど、 必ず確かめるようにしましょう。

例

「あなたの得意なスポーツは何ですか。」

答え 「野球。」「走ること。」など

な形で答えましょう。 「何ですか」と問われたら、 ものの名前や「~こと。」「~もの。」のよう

「なぜ、その本を読もうと思ったのですか。」

答え「おもしろそうだったから。」「先生にすすめられたか

「なぜですか」と問われたら、「~から。」という形で答えましょう。

がくにん 題

ら一つずつえらび、記号に○をつけましょう。 次の1~③の問いに対する正しい答え方を、 それぞれあとか

1 あなたが、右手に持っているものは何ですか。

はい、持っています。

国語のテキスト。

国語のテキストを持ってきます。

2 帰りの会で、先生が言っていたのはどんなことでしたか。

ア 授業参観でわすれものをしないため。

はい、先生の話をしっかり聞いていました。

ウ 明日の五時間目に、授業参観があるということ。

3 あなたはなぜ、約束の時間に来なかっ

ア 事故で電車がおくれていたから。

事故で電車がおくれていたこと。

ウ

事故で電車がおくれています。

ことをしていますか。 はるかちゃんは、毎朝早く起きるために、 1.1 つもどんな

(ヒント)

次の文章を読んで、

あとの11・2の問いにあった答えを書きま

と。」という形で答えましょう。 問題では、「どんなこと」をしているのかを問われていますから、

1

はるかちゃんが、

いつも夜早くねるようにしているのはな

ぜですか。

しています。

早起きをしています。ですから、

いつも夜は早くねるように

はるかちゃんは、毎日早朝にやるテニスの練習のために、

(ヒント)

を作りましょう。ますから、答えは、はるかちゃんがいつも早ねをする「理由」を答える形の文ますから、答えは、はるかちゃんが「なぜ」いつも夜早くねているのかが問われていここでは、はるかちゃんが「なぜ」いつも夜早くねているのかが問われてい

テニスの練習のために、

早起きをしている

で注意しましょう。 問われ方によって、 答え方が変わってくることもあるの

りのののでは、 かくにん

1

ウ 3

ア

練習問題

(例) から。 (からです。)

1 (例) 夜早くねること。

答えがちゃんとした文になっているか、確かめよう

しょう。 しかったりしないか、もういちど確かめましょう。 答えを書いたら、もういちど、自分の答えを見直してみま 意味がわかりにくかったり、ことばのつながりがおか

「あなたは今度の休みの日には、何をします か。

良くない答え①「弟とお母さんの手伝いで、 晩ご飯作りを

します。」

の手伝いで、晩ご飯作りを弟とします。」と「弟と」の位置を動かしたりし母さんの手伝いで、晩ご飯作りをします。」と読点を打ったり、「お母さん 意味が二通りに受け取れてしまう文になっています。この場合、「弟と、お「弟と」という部分が、どのことばを説明しているのかがわかりにくく、 意味がわかりやすくなるよう工夫しまし

良くない答え②「本を読んだり、 音楽をきくこと。」

〈解説〉

をきいたりすること。」と書くのが正しい答えです。このようなことばの使 らべるときに使うことばです。ですから、この場合、「本を読んだり、音楽 い方にも注意して、答えを見直しましょう。 ったりしは、 「見たり、 聞いたり」などのように、 二つのことがらをな

一部かくにん

ります。 次の1~4は、 の注意にしたがって、 線部を正しく直して答えましょう。ただし、 問いに対する答え方におかしなところがあ 答え全体を書き直しなさい。 4は、

1 「あなたは将来どんなことをやりたいですか。」

答え 「川に大きな橋がかかることです。」

2 答え 登りをしました。」 「おばあちゃんのうちで、 「春休みには、 どんなことをしましたか。」 魚つりをしたり、 山

3 答え 「全然おもしろかったです。」 「この映画は、 おもしろか ったですか。」

4 答え 「なぜ、 「ぼくがねころがっておやつを食べていた妹を 妹が泣いていたのです

(ねころがっていたのが妹だとはっきりわかるようにする) 注意したからです。」

2 さで泣いているのがさとしくんだということがはっきり わかる文に書き直しましょう。 線部は、 意味が二通りにとれてしまいます。 やし

(ヒント)

を変えるという方法があります。わかるようにするには、読点で意味を区切るか、「一組のみんなは」の位置 さとしくんなのかがわかりません。泣いているのがさとし 線部のままですと、「くやしさで泣いている」のが一組のみんななのか んだとはっきり

次の文章を読んで、 練習問題 あとの1・2の問いに答えましょう。

ち一組は、ゴールのギリギリまでトップを走っていたが、ア さとしくんをはげました。 ンカーのさとしくんが転んでしまい、一組はビリになってし ラス対抗リレーがあって、みんな楽しみにしていた。ぼくた まった。 今日の体育は、学年合同で行われた。授業の最後にはク 一組のみんなはくやしさで泣きながら教室にもどる

1 今日の体育でみんなが楽しみにしていたことは、 何です

(ヒント)

あったのかを読み取り、いますから、今日の体育 今日の体育でみんなが楽しみにしていたことには、 今日の体育でみんなは、「何」を楽しみにしていたのか問われて 答えを書きましょう。 どんなことが

りり りょうり ②の答え

確 * < にん

1 例) 橋をかけることです

2

例

山登りをしたりしました

- 3 (例)全然おもしろくありませんでした
- 例 ねころがっておやつを食べていた妹を、 注意したからです ぼくが

- 1 (例) 学年合同で、 クラス対抗リレ ーをすること。
- 2 例 もどるさとしくんをはげました。 一組のみんなは、くやしさで泣きながら教室に

物

1

線①「はいよ、

ちく

しょう、

もう・・

とあり

ますが、「私」はなぜ機嫌が悪いのですか。

物語

読んで考えよう

てしまったのだが、普段の日曜だったら、しっかりと寝ている時間だった。新うのはなんだか少々腹立たしい気分だ。妻が出かけるというのでついでに起き分前である。いかに仕事とはいえ日曜日のまだこのくらいの時間から集金とい 聞をひろげ、 「ポピーン」と、呼びリンがまた鳴った。冷蔵庫の上の時計を見ると九時五 お茶を飲んではいるがまだパジャマのままである。

「ぱいよ、ちくしょう、もう……」「ポピーン」と、また玄関で気ぜわしい音がした。

2

た意外な客がいた」とありますが、

線②「ドアをあけるとそこには思ってもみなかっ

ドアの前には、

どのような「客」がいましたか。

が入っている赤いビニール貼りのガマグチを引っぱり出し、私はあきらかにすと、私はひくい声でののしった。食器戸棚の下の引き出しから家計費用の金『ではいよ、ちくしょう、もう……』 にムッとした表情で玄関に出た。

子が三人、それぞれ両手に紙で包んだ小さな箱をしっかり持ち、なぜかみんな ②ドアをあけるとそこには思ってもみなかった意外な客がいた。チビの女のこしムッとした表情で支援し出す して変にキュッとした、気むずかしげな表情をして立っていたのだ。

がくちゃんいますか?」

る女の子が、これもまた**意表をつく**ような大きな声で言った。 まん中に立っていたオカッパ頭の、 前にどこかで一、二度見たことのあ 15

(2)

この「客」は、なぜ「私」にとって「意外な客」だっ

たのですか。

の青年か、なんとなく無口なガンモドキを連想させる小岩井牛乳の集金人あた事ができなかった。青白い顔に油っ気のないボサボサ頭をした朝日新聞の集金 えていなければならないドアをエイヤッと大きくひろげたまま。とっさには返私はストッパーが壊れてしまっていて、開けたらそのまま片手でノブを押さ 20

ドアをあけたら、突如として女の子が三人も立っていたのだから仕方がない。りが立っているのだろうと思って、いささか意味もなくぞんざいにエイヤッと

岳はまだ寝ているの……」

۲_,

私は言った。

25

3

線③「とっさには返事ができなかった」とあり

ますが、それはなぜですか。

「それじゃあ岳ちゃんにこれをわたしてください」

と、オカッパ頭の少女はまるで国語の教科書でも読むようなじつにくっ

したアクセントでそう言った。

「わたしも」

「わたしも」

してよこした。 オカッパ頭の両隣にいた二人の少女も同時に私の手にその小さな紙包みを渡れ

30

4

線④「ああ、そうか、

そうだったのか」とあり

ますが、

「私」はどのようなことに気づいたのですか。

「えーと、これはなにかな?」

私はきいた。

「チョコレートです。岳ちゃんにわたしてください

35

「チョコレート……?」

ああ、そう か そうだったのか。そのときようやく私は目下の状況が急速

に、そしていっぺんにわかってきたのである。

を片手で抱えてわけもなくあわててしまった。 ああそうか、そうなのか……。私は三人の女の子から渡された小さな紙包み 40

の自分の息子にバレンタイン・デーのチョコレートのプレゼン 今日は二月十四日。バレンタイン・デーだったのである。そして小学校四年 トが届いたので

ある。

腹は分

普段 呼ぶ

蔵庫

のの しる

・意表をつく

・気ぜわしい

・突如として

か?

(注)

鉢合わせ=ばったり出あうこと。

説明的文章

○論点を追いながら、細部まで読み取りましょう。

読んで考えよう

●ネコは身近な動物ですが、どうもえたいの知れないところがあります。 はネコを見てどんなふうに思いますか。 みなさん

1

線①「そんな気もしてくる」とありますが、

ど

といっしょに暮らしていると、 ったいネコは人間のことを何だと思っているのだろう? いつもそのことを考える。 何びきかのネコ

間の存在など気にもかけず、スーッと家から出ていったり、 ネコは人になつくのでなく、 そんな気もしてくる。 からかもどってきて、 イスの上ですましてねむっていたりするのを見ると、 家になつくのだと、 よくい れる。 いつのまにやらど たしかに人

くて、 れているネコはあきらかに人間にもなついている。なついているどころではな にとびだしてくる。それはけっしてえさほしさからではないようである。 たようにさわぐ。そして、飼い主の足音や車の音がきこえたら、全員げんかん したら、たとえ食べものはたっぷりあたえられていても、 けれど、すこしネコを飼ったことのある人ならよく知っているとおり、 人間にまったく依存しきっている。 たられていても、② ネコは気がくるっ飼い主がある期間以上家をあけでも 10

音を立て、そこらじゅうのものをけちらかして、 をくばってやたらにひっくりかえしたりしないネコたちが、 で遊びはじめる。ふだん歩くときは足音をしのばせ、まわりの物に注意深く気 そのように人間になついたネコも、 とびかかり、 まるで「人がかわった」ようになる。 追せきし、ころげまわる。こういうとき、 一日の一定の時間になると、 おそらくは狩人ごっこなのだ ドドドドドッとすさまじい物 いったん遊びに熱 かれらは人間 ネコどう 15

になっているのだ。 ほうなど見向きもせず、 人に呼ばれても返事一つしない。 かれらは完全にネコ 20

ているのも、ネコ好きの人ならよく知っているはずだ。ふしぎなことに、毛布 くるっと丸くなってねむりこんでしまう。このとき、かれらが好む布がきまっ のほうが好きである。ネコ族の動物はふつう巣というものを作らないから、か というのはそれほど好かれない。むしろ比較的あらい目のベッド・カバー れらは寝場所を巣と思っているのではない。 この遊びのひとときが終わると、かれらはベッドかイスの上へ上がりこみ、 など 25

すわりこんでいて、頭の上からニャアと小声で鳴いたりする。かれらは木の上 にとまっているつもりなのだ。(中略) かと思うと、ときどきかれらは、食器だなの上のような高いところにじっと

他のイヌ

30

だから、 と思っている。イヌはこのシステムに従って、飼い主になつくといわれている。 はそのリーダーに従っている。そして、リーダーは飼い主を自分のリーダーだ なもので、なわばりの中で二ひきのネコが、鉢合わせしないかぎり、闘争にはである。それぞれがなわばりをもっているが、このなわばりは比較的ゆるやか 本来的には存在していない。 わって、じーっと目で追ってゆくだけである。もちろん、リ ならない。 群れをつくって狩りをするイヌなどでは、群れにり けれど、ネコの社会はまったくちがう。ネコは本来群れを作らぬ単独狩猟者 飼い主はリ 自分のなわばりの中をよそのネコが通ってゆくのを、どこかにす ĺ ダ ー ・イヌと思われているのである。(中略) そうするとネコはなぜ人間になつくのであろう ーダーがおり、 ーダーとか順位は

> 2 のでしょう んな気もしてくるのですか。 ますが、どうしてネコはこのようなふるまいをする 線2 か。その理由を考えてみまし 「ネコは気がくるったようにさわぐ」 よう。 とあ

3 かぎかっこが用いられているのですか。その理由を考 ありますが、 えてみましょう。 -線③「まるで『人がかわった』ようになる」と 本文ではなぜ「人がかわった」の部分に

4 たりしますが、 ネコが食器だななどの高いところにすわりこんでい なのです か。 これはネコにすれば何をしているつも

5 ネコの習性として本文では、 どんなことが述べられ

てい ましたか。 書きましょう。

論点 暮らす · 存 在 · 従 う

13

随ば

(1)

言葉を学ぶ

随

高崎山=大分県にある山で、

野生のニホンザルが生息している。

「わたし」の思いをていねいに読み取りましょう。

読んで考えよう

●眼鏡は度が合ったものだとものがよく見えますが、 眼鏡と同じようなことがいえそうです。 言葉を覚えることについても

1

同じ段落のことばを用いて書きましょう。

線①「その時の感じ」とは、

どんな感じですか

感じを今でもよく記憶しているが、 はっきりした輪かくをもって見えるのにびっくりした。 度がどんどん進んで、 わたしは小学生のころから眼鏡をかけているが、 ひとかたまりにぼんやりとしか見えなかった樹木が、一枚一枚の葉まで、を今でもよく記憶しているが、初めて新しい眼鏡にかけかえた時、今まで 眼鏡を毎年のようにかけかえた時期がある。(その時のころから眼鏡をかけているが、中学校に入ってから近眼の

花の名、 花の名、 う印象を持つにすぎない。コブシ・ヤマブキ・ツツジ・サツキと、一つ一つの 持てるようになる。 ある。庭先に咲き乱れる花を見ても、 言葉を学ぶということは、新しい眼鏡にかけかえるのと同じようなところが 木の名を知っていれば、 木の名を一つも知らないと、ただ、ぼんやりと「きれいだな。」とい 一つ一つがはっきりし、 その花なり木なりを表す言葉、すなわち、 それぞれに親しみが 10

見分けることができるようにしてあるからであろう。 信じられないような話であるが、これは、名前をつけることによって一頭一頭 という羊に全部名前をつけていて、一頭いなくなっても、すぐ気づくという。 また、アラビアやアフリカの草原で羊を追っている人たちは、 ような顔に見えるが、 高崎山のサルには全部名前がついている。わたしたちにはどのサルも同じ 飼育者にとっては一ぴきとして同じ顔のサルはいない。 何百頭、 何千頭 15

わたしにもこういう経験がある。 わたしが同じくトカゲと言っていたものに

気味の悪い生き物なので、 二種類あって、 には関心がなかったが、 いのはカナヘビだということを学んだのはつい最近のことである。見るからに を見つけると、 気づかないことがある。言葉を覚えるということは、 ある。世界が開けるといってもい る強力な手段なのである。 いや (言葉を覚えると、今まで見えなかったものが見えるようになるので)カナヘビだと、今まで一つでしかなかったものが二つに見えだしたの ③それを表す言葉を知らないと、現実にものがあっても、 体につやがあり尾の短いのがトカゲで、 近づいていってながめるようになった。そして、 いってながめるようこよった。カナヘビという言葉を知ってからは、ひなたにその姿だった。という言葉を知ってからは、ひなたにその姿に い。現実世界にはいろいろなものが存在する。 現実世界をしかと見定め 体につやがなく尾が長 その存在に 25

たか、まとめてみまし

2 3 のが見えるようになる」とありますが、 原で羊を追っている人の話題を出したのは、 がどんなことを述べようとしたためですか。 て、 高崎山のサルの飼育者と、 「わたし」自身の経験がどのようなものであっ 線②「言葉を覚えると、 アラビアやアフリカの草 今まで見えなかったも このことにつ 「わたし」

4 「現実世界」 線3 ということばを用いて、 「それ」は、 どんな内容を指していますか。 まとめましょう。











かし



(2)

雪ぼっこ物語

生源寺美子



○登場人物の気持ちのゆれをていねいに読み分けましょう。

読んで考えよう

●東北の貧しい農家に生まれた「三谷チヨ」がこけしづくりの名人になるまでには、 「心の歴史」とよぶべきものがありました。 貧しさのためにかなえられなかった望みを、 自分の心の中に実現させていった

1

ありますが、どんなことについて「ちえをしぼった」

線①「チヨは、あれこれとちえをしぼった」と

のですか。「おもちゃのせり市」ということばを用い

て書いてみましょう。

はやりだした。 入学してふた月ほどもしたころだったろうか。 おもちゃのとりかえっこが

かをもちよって、まるく車座になる。つまり、おもちゃのせり市なのである。 おはじきやビーズ玉、せとものでできた腰さげかざり、 市に出せるものなど、チヨはなにひとつもっていはしない。でも、 お手玉や千代紙なん

もらってきただちんであった。(中略) だんすのひきだしにしまいこんだ二本の手ぬぐいのことを思いだした。 それはこのあいだの田植え休みに、チヨがよその家に子もりにやとわれて、 01

2

がやくようにりっぱにみえた」とありますが、

線②「そのあたらしい手ぬぐい

チヨにはか

それは

なぜですか。

だから、 んのものにしていいはずであった。 母はその手ぬぐいといっしょに、なにがしかの礼金をもらったはずである。 その手ぬぐいぐらいは、だれに気がねをする必要もなく、 チヨがじぶ

それだけのねうちのあるものなのだ。 めを背なかにおしつけられ、 なかの子にぎゅうぎゅううしろのかみの毛をしごかれ、ぐっしょりぬれたおし 母がしまいこんでしまったのを一本、チヨは、こっそりひっぱりだした。 なんといったって、 のりのきいたパキッとあたらしい手ぬぐいだ。毎日、背せ つらいのをやっとがまんしてかせいできたものだ。

そのあたらしい手ぬぐいが、 チヨにはかがやくようにりっぱにみえた。 市

あくる日、チョはそれをふところにしのばせて、 学校にいった。(中略)

みおとりするものとは思われなかった。

20

に出してもけっして、

まちかねた市が、 はじまった。

らひらした。③チヨは、ぐっとつばをのみこんだ。だれよりも早く、名のりうつくしいガラス千代紙(セロハンのようにすきとおる千代紙)のたばが、 あげねばならぬ。 輪のなかにはいったチヨの目のまえで、かのこもようやさくらもようだのの、 ぐっとつばをのみこんだ。だれよりも早く、名のりを

「この千代紙をば、なんとかーえーる。」

とたらしてさけんだ。 チヨは、白地にこんいろで富士山をそめぬいた手ぬぐいをはらり

とたんに、 「この手ぬぐいとかーえーよ。」 わあっと市がどよめいた。いちどきにわらい声があがった。おさ

やおかっぱの頭がゆれにゆれて、市のどよめきはしばらくしずまらなかった。 思いがけないことであった。

「なしてわらう?」

「そんなの、おもちゃでないべさ。」

「そんなもんと、だれがとっかえるかよ。」

チヨは、がくんとなった。くやしさとかなしさとはずかしさが、ごっちゃに

トネ=チヨの母の名。

チョはキッとなって、なかまをみすえた。

「手ぬぐいなんか、手ぬぐいなんかおかしいよ。」

かっかとほおがほてった。

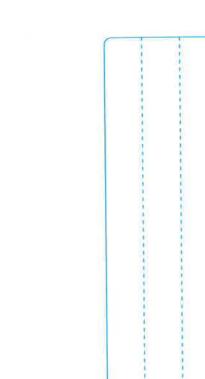
とうとう、いたたまれなくなって輪をぬけだした。そのままむちゅうで校門とうとう、いたたまれない)

を出ると、かけてかけてかけぬいた。

物語(2)/文末の表現

3 りますが、このときのチヨはどんな気持ちでしたか。 線③「チヨは、ぐっとつばをのみこんだ」とあ

4 けないこと」だったのですか。「りっぱ」ということ とありますが、チヨにとって、どんなことが「思いが ばを用いて、 線④「チヨには、思いがけないことであった」 説明しましょう。



35





学習日月日日

○話題になっている内容をしっかり読み取りましょう。

読んで考えよう

●ふだんなにげなくながめている鳥の卵は、ほかの動物の卵とは、いろいろな面で ちがっています。卵といえば、あのニワトリの卵を思いうかべますが、 色や形の卵ばかりではないようです。 実はあの

1

第一段落で述べられているのは、

どんなことですか。

なるかたいからをもっているのだ。 からをもつものもある。だが、鳥はすべての卵が、 らでおおわれている。 「鳥の卵は、 ほかの動物の卵とはかなりちがっている。まず、 は虫類の卵の中にも、ワニやカメの卵のようにかたい物の卵とはかなりちがっている。まず、表面がかたい 炭酸カルシウムの結晶から

2

第二段落で述べられているのは、

どんなことですか

形は多少ちがっているが、こうした卵形の卵はほかの動物では見られない。 次に、鳥の卵の多くは、いわゆる卵形をしている。つまり、長軸と短軸とが しかも、長軸の一方のはしは他方よりもとがっている。種によって

メリカのシギダチョウ類の卵など、まるで、宝石か陶器そのもののように光りボールのようだし、コルリの青い卵は大粒のサファイアのように見える。南ア 富んでいるのだろうか。】(中略) かがやいている。鳥の卵はなぜ、このようにかたいからをもち、 鳥の卵ほど、 があるのだが、それでも、 そしてもう一つ、 多彩で美しい卵はほかにない。ウグイスの赤褐色の卵はチョコ 鳥の卵は色彩に富んでいる。これはからをもつことと関連 ワニやカメの卵などにはたいした色はついていない。 卵形で色彩に 10

3

第三段落で述べられているのは、

どんなことですか

地中や石の下などに卵を産むは虫類などとはちがって、ふつう、 いところに巣をつくって産卵する。これは、 かたいからのある理由については、比較的容易に答えることができる。鳥は、 鳥の生活場所がそうしたところで 地表面より高 15

とぼしい。したがって、そこに産まれる卵は乾燥しやすく、その対策として、あることと関連している。鳥のそのような産卵場所は、地下などよりも湿気に かたいからをもつ必要があるのだ。

はじめて孵化する。この、 それを産み、また孵化させてくれる親鳥自身から身を守るためにも、 らをもつ必要があるのだ。(中略) また、鳥の卵は、そのまま放っておいたのでは孵化しない。親鳥が抱卵して れたり、傷ついたりしてしまう。少しひねくれた言い方をすれば、 抱卵のさい、もしかたいからがなかったら、卵はつ 鳥の卵は かたいか 25

実は難問なのである。 では、 卵の形のほうはどうか。 (中略) 卵の形がなぜそうなっているのかは、

の中に産卵される。こうしたあなの中では、卵がころがり落ちるということが カワセミ類、 *球形かそれに近い形をしている。これらの卵は、 したがって、形が球形であってもこまることはない。 フクロウ類、 だとしている。これらの卵は、 * 樹洞や土手のあなハチクイ類の卵の多くは、鳥の卵の中ではめずら 30

ればわかるように、球形のものはどの方向にもかんたんにころがってしまうが、 ているのは、安定を保つためだと考えられる。確かに、床の上などで試してみ ゆがんだ形のものは、限られた方向にしかころがらない。 このことからすると、 樹上や土地表面の巣に産卵される卵がゆがんだ形をし 35

結局のところ、 やアフリカのエボシドリ類のように、球形に近い卵を産むものもいる。(中略) 産むものもいる。また逆に、樹上に巣をつくる鳥の中にも、ワシタカ類の一部 あなの中に産卵する鳥のなかにも、キツツキ類のように卵形の卵を 鳥の卵が卵形、 あるいはその他の形をしている理由ははっきり

球形=まん丸のたまの形。

樹洞=木にできているあな。

4 ようとしていますか。それがまとめて述べられている 一文を書きぬいてみましょう。 筆者は本文の 【 】の部分で、 どんな内容を説明し

5 すか。 本文で実際にはふれられていないのは、 ④で書きぬいた一文の内容と照らし合わせたとき、 どんなことで

・いわゆる

たいした

宝 (傷) つく

難問

随い

(2)

昔カレ

「私」の気持ちを細かいところまで読み取りましょう。

読んで考えよう

●みんなの好きな食べもののカレーライス(ライスカレー)。どうしてみんな、 んなにもカレーが好きなのでしょう? そ

1

線①「『お父さんのカレー』

は肉も多く色が濃

ありますが、

このことから、

お父さんについてどうい

かった」、②「父の前にだけ水のコップがあった」と

うことがわかりますか。

辛口に出来ていたのだろう。そして、②父の前にだけ水のコップがあった。の二種類である。①お父さんのカレー』は肉も多く色が濃かった。大人向きにの大き目の鍋に入った家族用と、アルマイトの小鍋に入った「お父さんのカレー」 父は、何でも自分だけ特別扱いにしないと機嫌の悪い人であった。家庭的に 我が家のライスカレーは二つの鍋に分かれていた。アルミニュー

たものだ。 に違いない。 入っている大ぶりの西洋皿も、 (っている**大ぶり**の西洋皿も、父親の、権威を再確認するための小道具だった父にとっては、別ごしらえの辛いカレーも、コップの水も、一人だけ金線の 10

私は早く大人になって、水を飲みながらライスカレーを食べたいな、

と思っ

2

①のようなことは、どういうことが原因になって

ると「私」は考えていますか。

父はよくどなった。

今から考えると、よく毎晩文句のタネがつづいたものだと感心してしまうの 15

晩酌で酔った顔に飛び切り辛いライスカレーである。父の顔はますます真っだが、夕食は女房子供への訓戒の場であった。 汗が吹き出す。 ソースをジャブジャブかけながら、 叱言をい そ

えて皮膜をかぶ れ水だ、 うどん粉の多い昔風のライスカレーのせいだろう、『母の前のカレベ水だ、紅しょうがをのせろ、汗を拭け、と母をこき使う。 いままでに随分いろいろなカレーを食べた。目黒の油面小学校の、 しわが寄るのが子供心に悲しかった。 (中略) 校門の横 冷 20

(中略) というでは、バンコクの路上で食べた一杯十八円ナリの、魚の浮き袋の半りのほうでは、バンコクの路上で食べた一杯十八円ナリの、魚の浮き袋のの時にお世話になった日本橋の「たいめい軒」と「紅花」のカレー。銀座ではの時にお世話になった日本橋の「たいめい軒」と「紅花」のカレー。銀座では、かったカレーが忘れ難い。(中略)

4 カレーライスとライスカレーの区別は何だろう。入ったカレーが忘れ難し、「E」

てあるのがライスカレーだという説があるが、私は違う。 金を払って、 カレーとライスが別の容器で出てくるのがカレーライス。 おもてで食べるのがカレーライス。 ごはんの上にかけ 30

べた、母の作ったうどん粉のいっぱい入ったのが、ライスカレーなのだ。 んでいたのだろう。 自分の家で食べるのが、 すき焼きや豚カツもあったのに、どうしてあんなにカレーをご馳走と思い ライスカレーである。厳密にいえば、 子供の日に 沙 食 35

うす暗い茶の間の記憶がダブって、一家団欒の楽しさなど、しかも、私の場合カレーの匂いには必ず、父の怒声と、お ないのに、それがかえって、 は始末に悪いところがある。 しかも、私の場合カレーの匂いには必ず、父の怒声と、おびえながら食べたあの匂いに、子供心を、眩惑するなにかがあったのかも知れない。 なつかしさをそそるのだから、 思い出というもの かけらも思い出さ

権威=下のものをおさえつけて、従わせる力。 は最下等のものを表す。 「ピンからキリまで」のキリのこと。ピンは最上のもの、

> 3 していますか。「父」「母」ということばを用いて説明 しわが寄る」とありますが、これはどんなことを意味 してみましょう。 線③「母の前のカレーが、 冷えて皮膜をかぶり、

1		- 1
1	-	1
	1	
	¥ :	0
1		1
	87	1
	6	
	1	18
	1	
	8	*
	1	-1
		31
4	1	
100		
	1	1
	4.	
		- 1
1		7
	1:	4.
1		
	1	30
	1	
	7	
	1	
		1
	1	
-		

25

4 だろう」とありますが、「私」はこの二つをどう区別 していますか。まとめて説明しましょう。 線④「カレーライスとライスカレーの区別は何

	-1	
1		
-1	1	
	1	
		-
100		
100		
1		
	i.	
1		
	1	
1		
1	1	
1		
•		
	8	
F1	1.5	
10		
1		
	10	
(4)	i	
		- 1
1	100	
Ŷ.	1	
	4	
	1	
İ		
ł ł	4	
	1	- 1
1	1	
3		
	-	



40

眩惑=目をくらませ、

まよわすこと。

35

うは言いされないという留保の意味合いを表すことができます。 ③ かぎかっこを付けることで、「 」内の内容には近いけれども、そう。

なること、飼い主の足音にもびんかんに反応することをおさえましょ② 飼われているネコは、世話をしてくれる人間が不在になると不安におさえましょう。

団 第二段落の最初の一文が「そんな」の指している内容であることをを書きる。

上の内容のうちの一つ以上書かれていればよい。)いるなわばりは、比較的ゆるやかなものであること。(以ネコは本来巣や群れを作らないということ。ネコのもってむしろ比較的あらい目のベッド・カバーであるということ。コだけで遊ぶということ。ネコの好む布は、毛布よりも、コでも一日の一定の時間になると人間に見向きもせず、ネ

- 国(例)ネコは家にも人間にもなつくということ。飼われているネ
 - ④ (例) 木の上にとまっているつもり。

してくる。

う意味を示すためにかぎかっこが用いられている。

のでは誤りになるため、もし人間にたとえて言うならとい図(例)ネコは人間ではないので、人が変わったとそのまま書いた……

不安になるから。 人間に依存しきっているので、飼い主が姿を見せないと、②(例)飼われているネコは、人間になっくというよりも、おしろ

①(例)ネコは人になつくのではなく、家になつくのだという気も

読んで考えよう

(42) 説明的文章()ことばの変化(62~5)

図 「ない」「だ」「られる」「せる」「そうだ」は助動詞です。なら」と活用します。

活用は一種類しかありません。「だろ/だっ・で・に/だ/な/ということばです。形容動詞は「だ」の部分だけが活用するので、

- (3・何) 「おだやかだ」も「健康だ」も性質や状態を表す形容動詞 レノする/すれ/しろ・せよ」というように変化します。
- ② ⑴ 「する」ということばは変化の仕方が不規則で、「さ・せ・し/ように活用します。

ばにしたがって、「深かろ/深かっ・深く/深い/深い/深けれ」の「「深かい」は性質や状態を表す形容詞ということばで、下に付くこと

るそうな **4 (4)** ω vz かん (2) 国川なかっ 回 健康で ④① おだやかな ② 立て ②① ふんばれ ∅ <44</p> 事人 中ごか ①① T 📫 🔞 C ⊕∃ № ④ 深けれ⑥ 深けれ⑥ 深かっ 田 円 深 (2) 深く ③ 深かろ

ことばについて学ぼう

の状況」について、そのあとの部分から読み取ってまとめましょう。ペルにわかってきた」とあることに着目し、「私」が気づいた「目下回 直後に、「そのときようやく私は目下の状況が急速に、そしていっかった「私」の気持ちをおさえましょう。

ていました。おどろき、うろたえて、すぐに返事をすることができなアをおけたところ、そこには予想もしていなかった「煮外な客」が立っ図 呼びリンを鳴らしているのが集金人だと思いこんでいた「私」がドたのです。

いる時間」である「九時五分前」です。そのため、「私」は機嫌が悪かってがいいいいかまた鳴ったのは「普段の日曜だったら、しっかりと寝て〈解説〉

のだということ。

ンタイン・デーのチョコレートを届けるために、家に来た (例) 今日は二月十四日なので、女の子たちは、息子の缶にバレしていいかわからなかったから。

- ②(例)とつぜん予想外の客が来て、おどろきのあまりどう返事をいこんでいたから。
- ②(例)私は、客が新聞の集金の青年か牛乳の集金人だろうと思②(例)小さむ三人の女の子。
 - ①(例)日曜の朝早い時間に、集金の人が来たと思ったから。

読んで考えよう

物語① 「が」「は」「の」の使い方(40~1)

れることに着目しましょう。

□ 例文の「の」は、部分の主語を表す「の」で、「が」と置きかえらます。「が」に置きかえることができないものはどれかを調べましょう。 □ 主語のはたらきをしている「の」は「が」に置きかえることができ2 大間∐と同様に考えて、「は」と「が」の区別をしましょう。

□ 「が」には主語を明確にするはたらきがあること、「は」は主語を強

めるはたらきをすることをおさえます。

《解説》

ことばについて学ぼう

A 00 7 0 13

ということです。

着目しましょう。自分のことばを用いるということは、自分で考える □ 詩の題名や、詩の中でくり返し使われている「自分のことばで」に

■ ⑫行目の「それ」が指している内容をまとめてみましょう。 知らぬ間に歩かされる」ことにあたります。

えることと置きかえられます。その反対のことが「(つくられた道を) 目しましょう。「自分の足で 大地に立」つとは、自分のことばで考 目「自分の足で 大地に立」つことが対の関係になっていることに着 ② 例行目「(つくられた道を) 知らぬ間に 歩かされる」ことと処行

おさえましょう。 ②(①行目にある「みんな」が、直前の④~⑥行目を指していることを 着目しましょう。

□ ○~②行目が、ふつうのことばの順番とは入れかわっていることに 《解盟》

思と責任を持って行動するべきだということ。

- ⑤(例)自分が人間らしく生きるためには、自分で考え、自分の意
 - △ (例) 自分の足で大地に立ち、自分のことばで考えること。 回 (例) 人の考えた通りに生きていくこと。
 - しむこと、歌、おどり、一つの仕事。
- ② (例) けんか、あそび、なかまづくり、ちいさないのちをいつく
 - □ (例) 自分のことばで自分の心と思いを叫んでみよう。

読んで考えよう

4 評価 文を書く (400-23)

② 「この列車は、名古屋・京都・新大阪にとまります。」も可。 ○ 川 (近ごろ父は、体調がよくないとしきりに言っている。」も可。

なのかはっきりしません。

つことなので、この文だけで考えると、「辞書を買う」人がだれ されていると考えられますが、それは前後の文脈があって成り立

- ③ (例) かれのボランティア活動への情熱には頭が下がった。
 - ② (例) あなたは、どうして昨日学校を休んだのですか。
- 回 (例) その本を、私はぜんぜんおもしろいと思わなかった。 三十九度も出たからだ。
- ④ (例) 妹がきのう学校を休んだのは、かぜをこじらせて熱が んぶん食べられなかった。
- ③ (例) きのう、ぼくはおなかの調子が悪かったので、思うぞ
- ②(例)この列車の停車駅は、名古屋・京都・新大阪です。
- ⑴ (例)近ごろ父は、からだの調子がよくないとしきりに言っ 消しを表すことはかない。
- ④ (例) [けっして] ということばがあるのに、文の中に打ち
 - ③ (例) 文が二通りの意味になり、あいまいである。
 - ② (例) 「ぼくは」という主語に対応する述語がない。 かがはっきりしない。
- □ (例) 主語が書かれていないため、だれが「辞書を買う」の

ことはについて学ほう

容をまとめればよいかを考えましょう。

- 「それ」の中に代入できるようにまとめるには、どのように指示内
- ◎ 第四段落の前半部に「わたし」の具体的な経験が述べられているこ とに着目しましょう。
- ラビアやアフリカの草原で羊を追っている人たちにあてはめているこ ② 第二段落で述べられていることがらを、高崎山のサルの飼育者とア するためのはたらきをしていることに注意しましょう。
- た」という「わたし」の経験は、次の段落以降の内容をわかりやすく 松一枚の葉まで、はっきりした輪かくをもって見えるのにびっくりし
- □ 「今までは、ひとかたまりにぼんやりとしか見えなかった樹木が、一 《辉织》
 - | 国(例)現実世界に存在する、いろいろなもの。
- でしかなかったものが二つに見えだした、という経験。 からは、これはトカゲだ、いやカナヘビだと、今まで一つ カナヘビの二種類があって、カナヘビという言葉を知って
- ② (例) [わたし] が同じくトカゲと言っていたものにはトカゲ・ できるようになるということ。
- 動物に名前をつけることによって一つ一つ見分けることが ②(例)高崎山のサルの飼育者も草原で羊を追っている人たちも、 て見えるのにびっくりする感じ。
- た樹木が、一枚一枚の葉まで、はっきりした輪かくをもっ □ (例) 初めて新しい眼鏡にかけかえ、ぼんやりとしか見えなかっ

読んで考えよう

CI

に身につけましょう。

- ② それぞれの熱字訓のことばの意味を辞書で調べ、正しい意味ととも
- 手」と同じく、それぞれ意味が異なるので使い分けに注意しま 似「下手」には「しもて」「したて」という読みもあります。「上
 - 個 「博士」は熱字訓以外の読みでは「はくし」となります。 ぞれ意味が異なるので、使い分けに注意しましょう。
- ◎ 「上手」には「かみて」「うわて」という読みもあります。それ
 - 「清水」は熱字訓以外の読みでは「きよみず」となります。
- [昨日] は熱字訓以外の読みでは「さくじつ」となります。 □ ⑴ 「明日」は熱字訓以外の読みでは「みょうにち」となります。
 - 《辉铝》
 - 「へ (5) しぐれ (3) (=) het 5.3 (2) C (4) 2 一個 へた 田 はかせ
 - ち〉 (意 いけて (弦) 印 トレだ(こ) 何 ついたち
 - たむばた 豆 つみず C∠(I) € (#C∓ (9) ④ くだもの
 - ② まのう ② おとな E = 484
 - ことはについて学ぼう

□ (いつう日本語で主語が書かれていない場合は「わたし」が省略

② 第二段落の中心文は、最初の一文です。鳥の卵の形が話題になって 点で際立っているというのです。

れないままで文章は終わっています。

していることをつかみましょう。

いることをおさえましょう。

かの動物の卵とかなりちがっていて、それはまずからのかたさという □ 第一段落の最初の一文と最後の一文をまとめましょう。鳥の卵がほ

第六段落以降でふれられています。結局、卵の色彩についてはふれら については第四・五段落でふれられています。また、卵の形については、 中のどこで述べられているかをていねいに確認します。からのかたさ

回 鳥の卵のからのかたさ、鳥の卵の形、鳥の卵の色彩の三点が、本文

つの待ちょうがどうして鳥の卵にそなわったのかを、問題として提起

えで、第一・第二段落でふれている鳥の卵の特ちょうもまとめて、三

図・回 第三段落では、まず鳥の卵が色彩に富んでいることを示したう

- 国 (例) 鳥の卵が色彩に富んでいるのはどうしてかということ。 んでいるのだろうか。
- 鳥の卵はなぜ、このようにかたいからをもち、卵形で色彩に富
- からをもち、卵形で色彩に富んでいるのだろうかというこ
- 図(例)鳥の卵が色彩に富んでいることと、鳥の卵はなぜ、かたい
- □(例)鳥の卵の多くは、いわゆる卵形をしているということ。 いからまもっているということ。
- (例) 鳥の卵は、ほかの動物の卵とはかなりちがっていて、かた

読んで考えよう

● 説明的文章② 強調することば (6%~3)

ちを認められなかったことがショックだったのでしょう。

どうしてもほしいという強い気持ちを反映したものと考えられます。

の、このきんちょう感にあぶれる気構えは、目の前のガラス千代紙が

② 直後の「だれよりも早く、名のりをあげねばならぬ」に着目。チョ

手に入れたものだからこそ、チヨはねうちがあると考えたのです。

○ チョがよその家に子もリとしてやとわれ、つらい思いをしてかせい

ぼっていることをつかみましょう。

だったから

かということ。

《辉照》

読んで考えよう

だものがその手ぬぐいだったことをまずおさえます。そのようにして

チョは、おもちゃのせり市のなかまにはいりたいがために、ちえをし

りたかった」とあります。おもちゃのせり市に出せるものをもたない

□ 直前に「でも、どうにかして(おもちゃのせり市の)なかまにはい

△(例)かがやくようにりっぱだと思っていた自分の手ぬぐいを出

②(例)自分がつらいのをがまんして、やっとかせいできたもの

団(例)おもちゃのせり市に自分も加わるには、何を出したらよい

◎ (例) ガラス千代紙をどうしても手に入れたいという気持ち。

したら、みんむに笑われたこと。

全 し (3) 7 성 (2) H (3)

4 6 4 6

かを覚えるようにしましょう。

える印象は強まります。

の たいそう

らず・えば ⑥

② なんと

◎ ミベンベン

より・いよいよ・たいそう

ことが強調される。

□ 一つ一つのことばの意味をしっかり理解して、どんなときに使える

い文になりますが、バランスよく使えば文が引き立ち、読み手にあた

す。強調語を使いすぎると、かえってうるさい感じになって読みにく

② 強調語を用いていない右の文は、読んだときの印象が平板になりま

どんな強調語を用いればいいのか、ほかにどんな強調の表現法がある

分を強めたいかで、用いる強調語もちがってきます。どういう場合に

□ 強調語は、特に用いられなくても、文の意味はわかります。どの部

ていないことがさらに強調される。

②(例)在の文では、右の文にくらべて、かれがまだ成長しきっ

□ ⑴ (例) 左の文では、みんなに非難されることが確実だという

ことばについて学ぼう

言い方と結びつきます。

- かまからはおもちゃとは見なされないばかりか、だれからもそのねう ⑤ 「~て(で)も」という言い方は、「かりに」「たとえ」という △ チョにとってはたいへん「ねうちのある」手ぬぐいが、せり市のな などということばと結びつきます。
- ④ 「~か」という疑問を表す文末の言い方は、「なぜ」「どうして」 かつきます。
- 「ちがいない」は「たぶん」「きっと」などの推動の言い方と結 ② 「ぜひ」は文末の「~ください」と結びつきます。
 - 結びつきます。
- ◎ ⑴ 「よもや」は文末の「~まい」「~ないだろう」ということばと 《雜點》

④ どうして ⑥ たとえ

- けみみ ∃ ω (3) ましと なず (2)
- ④ (例) ここで遊ぶなと、人に禁止・命令するときの言い方。 ③(例)サッカーの試合を見ようと、人をさそうときの言い方。
- ②(例)自分たちの学校を見に来るように、人にていねいにた
 - 7 (0)
- ち 物語(2) 文末の表現 (42~21)

ことばについて学ぼう

のむときの言い方。

□ (例) 人に絵を見るようにすすめる言い方。 7 0

> (4) K (E) \$\begin{array}{c} \pi \end{array}

J (5)

A (1)

- □ 「くれなるの」の歌の中で、「の」は実に五つも使われています。 とをありがたいと感謝して、母親の愛情を素直に受け止めています。
- 回 作者は年老いた母が、わざわざ息子のためにかやをつってくれたこ。
- □ 「蜜柑の香せり」に着目。作者はみかんの香りという嗅覚を仲立ちとれる。 「金の油」にたとえられています。
- ③・⑤ いずれもたとえを確認する問題です。夕日を浴びて散るいちょ をはなれて、その故郷をなつかしんでいることがわかります。
- しく思っている良寛の姿が想像されます。
- □ 「春日」ということばから季節は春。「暮れずともよし」から、子供

 - 囚(例)夏のぎらつく太陽の光。
 - - 回 (例) 銀杏の葉を、金色の小さい鳥に見立てている。
 - ②(例)ふるさとをなつかしむ気持ち。
 - □(例)春の夕暮れ時。

- (例)街角にいる子供の方からただよってきたみかんの香り。

読んで考えよう

- を言いつけたりするため、母は食事をするひまもないということが、
- の苦労(家庭的不幸や低い学歴、苦学、給仕としての入社、異例の出
- ② 「私」は、父親が特別扱いを家族に求める理由を、父親のそれまで

①(例)食事のときに他の家族とはちがって、特別扱いされていた

読んで考えよう

随筆(2) 熟語の組み立て (4分~分)

して冬の到来を実感しています。

うの葉が「金色のちびさき鳥」にたとえられ、夏のざらついた陽光は

② 「海恋し」や「訛なつかし」などから、どちらの作者も生まれ故郷

と遊ぶ楽しさをいつまでも味わっていたいがために、夕暮れをうらめ

9 2

- 回(例)作者の、母に対する感謝の気持ち。

○ 経歌川 文の組み立て (48~4)

△ 本文の5~8行目に着目。「厳密にいえば」以下の部分を、解答に カレーが冷えてうすい膜ができるという表現からわかります。

世、出世にともなうがんばり)に求めています。

- △(例)金を払って、おもてで食べるのがカレーライスで、自分の ないということ。
- ②(例)父が食事の時に母をこき使うため、母が食事をする時間が なって、肩ひじ張って生きてきたこと。
- ②(例)父が小さいころ家庭的に恵まれず、高等小学校卒の学歴で、

盛りこんでもかまいません。

- ② 父親が食事時に家族に訓戒したり、叱言を言ったり、あれこれ用事

父が家族の中では別格の存在として特別扱いされてきたことがわかり 準備されること、父だけ高足膳を使って食べていることなど、すべて レーという二種類のカレーが用意されていること、父の前にだけ水が □ 大人向きの辛口の「お父さんのカレー」と、その他の家族向けのカ

《解點》

家で食べるのがライスカレーである。

- 苦学しながら保険会社の給仕に入り、年若くして支店長に

りません。

《解照》

体が「本は」に係る修飾語になっているので、対等の関係にはあ

たしが」「買った」も主語と述語ですが、「わたしがく買った」全

④ 「本は」「おもしろかった」が文の中心になる主語と述語。「わ

② 「おじいさんは」「行き」と「おばあさんは」「行った」がそれ

だろう」も主語と述語。「雨が」「降り続いたら」は条件を表して

77 (3)

② 「雨が」「降り続いたら」が主語と述語、「こう水が」「発生する

いるので、あとの主語と述語にしたがうことになります。

W (2) /3 (3)

15 (a)

(別例) わたしに兄は姉の秘密を教えた。

(別例) わたしの兄は姉に秘密を教えた。

(別例) わたしは兄と姉に秘密を教えた。

(別例) わたしは友人の店に肉を買いに行った。

(別例) わたしの友人は店に肉を買いに行った。

(別例) わたしと友人は店に肉を買いに行った。

② (例)わたしは兄に姉の秘密を教えた。

団 (例)わたしは友人と店に肉を買いに行った。

(71) > (6)

ž (O)

ぞれ主語と述語で、対等にならんでいます。

◎ ⑴ 老人が」「植える」が主語と述語。

(\$\dir \text{0} \dir \text{0} \dir \text{0} \dir \text{0}

 \sim \odot

0 D

ことばについて学ぼう

- は上の字が下の字の意味を打ち消すもの。 「養否」は反対または対の意味の漢字を組み合わせたもの。他
- ④ 「無線」は上の字が下の字の意味を打ち消すもの。他は上の字 来るもの。他は反対または対の意味の漢字を組み合わせたもの。
- ③ 「着席」は「――を」「――に」に当たる意味の漢字が下に ―に」に当たる意味の漢字が下に来るもの。
- ② 「悪人」は上の字が下の字を飾するもの。他は「---を」「--の似た漢字を組み合わせたもの。
- □ ⑴ 「夫婦」は反対または対の意味の漢字の組み合わせ。他は意味
 - 回上の字が下の字の意味を打ち消すもの。
 - ④ 「――を」「――に」に当たる漢字が下に来るもの。 上の字が下の字を修飾するもの。
 - ② 意味の似た漢字を組み合わせたもの。
 - 川 反対または対の意味の漢字を組み合わせたもの。

/6#-345/						_					
ω	(1)	夫婦	(2)	黑	9		掩框	(4)	無線	(5)	黄杏
ì	(5)	非審	· 未完								
3	(3)	绺但 。	· 斡風	(4)	秦		犯罪				
	$\widehat{\exists}$	增減。	学年.	2	除り		衆戲				
ì	(5)	Н	6	<u>)</u>	3		\odot	J			
	$\widehat{\exists}$	4	1 2) F	\ G		4	Ţ			

ことばについて学ぼう

そのような人を「信用しない」といっています。 ないことしか言わなかったという経験がいやというほどあることから。

文にあります。

ろは、おだやかに人間的に訂正してやるという態度をとる

おだやかに人間的に訂正してやるだけの雅豊をもつことである」と本

くまで相手を喋らせ、しかもその至らぬところ、誤っているところは、

回、地位の上の人々が、部下のまたは年少の者の話を聞くときに、あ

□ 「話す態度には尊敬があっても、話されることについてはあくまで

□ 筆者は、「沈黙の偉人」とされる人が、実際には期待外れのくだら

平等の立場でありたい」という部分に着目して考えます。

- Q(例)部下を喋らせ、しかもその至らぬところ、誤っているとこ
- 図 (例) 言わなければよかったとこうかいすることになる、という 中等の立場でありたいという気持ち。
- ②(例)話す態度には尊敬を持っても、詰されることについては、 持っているから。 しくしゃべっただけだった、という経験をいかというほど かと耳をかたむけると、ばかげきったことを、しかつめら

□ (例) いつももの言わぬ人が、たまに口を開いたので、何を言う



説明的文章③ 絵や図を見て考える (μα−の)

のだソ評価する」こと。

てしまった。 が、ちりも積もれば山となるで、もう百枚以上になっ ② (例) 昔から何とはなしに、見た映画の半巻をとっておいた

[折り紙をつける] は「人物やものを、すぐれたもの、信用できるも

ものごとの理解がすばやいこと。また、手ぬかりのないさまのたとえ」。

まける」ということ。「目から鼻へぬける」は「非常にかしこくて、

□ 「油を売る」は「仕事中むだ話をしたり勝手なことをしたりしてな

① ちりも積もれば山となる ア・(例) 働く人が不足していること。

キ・(例) 大変はずかしい思いをして顔を赤らめること。 ② 力・(例) 同じことばかり言われていやになること。

なり、「新しく」とすれば「即位する」を修飾することになります。

ります。また、「新しい」とすれば「国王が」を修飾することに

② ⑥ 「粋」には「あたら(しい)・あら(たに)」という訓読みがあ

□ ⑴(個は、どれも送りがなの書きまちがいの多い漢字です。漢字を

覚えるときに、送りがなも合わせて覚えるようにしましょう。

田 川 H・(例) 気が合うこと。

ことばについて学ぼう

りに対して自分のしてきたことを反省していると考えられます。

かった英美子は、そういうみどりに感動するとともに、いままでみど □ みどりが本当に英美子のことを心配し、はげましていることがわ みどりにすきがあれば、そこにつけこもうとしています。

□ 英美子はみどりのことばを素直に受け止めることができず、むしろ 「早川みどりは、~英美子をはげまそうとしているのだ」に着目。 □ みどりの「藤崎さんとお友だちになりたかったの」ということばや

- じようとする気持ち。 (別例) みどりのことばが、うそのない本心から出たものだと信 まないと思う気持ち。
- (別例) 自分がみどりに対してとった意地悪な態度を反省し、す 心を打たれる気持ち。
- 回 (例) 父の事件があっても自分にやさしくしてくれるみどりに、

図 (例) 苦しいからなおのこと明るく生きましょう。

げまそうと思ったから。

- しみがわいたから。 (例)自分の家のようすを英美子が知っていたので、ますます親
- ②(例)みどりが、自分の家の不幸を知られて、ショックを受ける ②(例)みどりの言うことが信じられず、はげしい敵意を感じたから。

(別例) 自分と同じように家庭に不幸なことがあった英美子をは □ (例) 藤崎英美子と友だちになりたいと思っていたから。

⑤ 送りがなのつけ方 (p.2√4)

(5) 聞こえる (6) 異なる 山 連むる ◎ 見苦しい 同 川 軽々しく E HRB (別例) えて・たに (別例) えて・しく いて・イン の **ジー・ジー (9)** 45. (別例) ます・んだ 6 + 4 m 回のたいかい 明るい 最も (5) 親しい (6)

ことばについて学ぼう

田 印 起きる

(全) 道やこ ② 名をゆ